

講義名	人的資源管理論			授業形態	
担当教員	楠奥 繁則	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

主題と概要

本講義では、「働きがいのある会社とは何か」を中心テーマとして、人的資源管理の基本理論を体系的に学び、人間観やモチベーション理論、セルフ・エフィカシー理論、リーダーシップ論などを踏まえ、ワーク・エンゲージメントの視点から、人がいきいきと働く組織の条件を多面的に検討する。さらに、評価制度やキャリア開発などの人的資源管理施策と関連付けながら、働きがい高める組織づくりについて理解を深める。

到達目標

(1) 人的資源管理の基本概念および人間観・モチベーション理論を理解し、説明できる。
(2) セルフ・エフィカシーやワーク・エンゲージメントの概念を理解し、人がいきいきと働く心理的要因を説明できる。
(3) リーダーシップや人的資源管理施策が働きがいと与える影響を、理論に基づいて分析できる。
(4) 働きがいのある会社の条件について、自身の考えを論理的に表現できる。

提出課題

授業期間中に確認テストを実施する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業内にて確認テストの解答を提示し、補足解説を行う。

評価の基準

(1) 確認テスト20%、定期試験80%の割合で総合的に評価する。
(2) 6回以上欠席した場合は、原則として単位を認定しない。

履修にあたっての注意・助言他

本科目では、「働きがいのある会社とは何か」をテーマとして、人がいきいきと働くための心理・リーダーシップ・制度について学ぶ。講義では理論の理解に加え、実際の企業や自身の将来の働き方と結び付けて考えることを重視する。予習・復習を通じて理解を深め、自らの経験やアルバイト経験なども踏まえながら主体的に考察する姿勢を期待する。

教科書	.働きがいのある会社とは何か：「働きがい理論」の発見。	ロバート・レバリング	晃洋書房	2750	9784771036666
-----	-----------------------------	------------	------	------	---------------

参考図書	.スタッフワード式最高のリーダーシップ。	スティーン・マーヴィ豊松	サンマーク出版	1760	9784763136886
------	----------------------	--------------	---------	------	---------------

その他

授業計画

(1) 働きがいのある会社とは何か
【予習】講義資料を通読し、主要概念やキーワードを整理しておく（120分程度）【復習】講義内容を振り返り、重要概念をノートにまとめるとともに、不明点や関心を持ったテーマについて文献や資料を調べ理解を深める（120分程度）

(2) 働きがいのある会社とは何か：ワーク・エンゲージメントの視点から
【予習】講義資料を通読し、主要概念やキーワードを整理しておく（120分程度）【復習】講義内容を振り返り、重要概念をノートにまとめるとともに、不明点や関心を持ったテーマについて文献や資料を調べ理解を深める（120分程度）

(3) 組織とは：Barnard組織論からみた組織
【予習】講義資料を通読し、主要概念やキーワードを整理しておく（120分程度）【復習】講義内容を振り返り、重要概念をノートにまとめるとともに、不明点や関心を持ったテーマについて文献や資料を調べ理解を深める（120分程度）

(4) 人間観：経済人モデルと社会人モデル
【予習】講義資料を通読し、主要概念やキーワードを整理しておく（120分程度）【復習】講義内容を振り返り、重要概念をノートにまとめるとともに、不明点や関心を持ったテーマについて文献や資料を調べ理解を深める（120分程度）

(5) 人間観：自己実現人モデルと複雑人モデル
【予習】講義資料を通読し、主要概念やキーワードを整理しておく（120分程度）【復習】講義内容を振り返り、重要概念をノートにまとめるとともに、不明点や関心を持ったテーマについて文献や資料を調べ理解を深める（120分程度）

(6) ワーク・モチベーション：Vroomの期待理論の限界とBanduraのセルフ・エフィカシー理論
【予習】講義資料を通読し、主要概念やキーワードを整理しておく（120分程度）【復習】講義内容を振り返り、重要概念をノートにまとめるとともに、不明点や関心を持ったテーマについて文献や資料を調べ理解を深める（120分程度）

(7) ワーク・モチベーション：AlderferのERG理論とHerzbergの二要因理論
【予習】講義資料を通読し、主要概念やキーワードを整理しておく（120分程度）【復習】講義内容を振り返り、重要概念をノートにまとめるとともに、不明点や関心を持ったテーマについて文献や資料を調べ理解を深める（120分程度）

(8) セルフ・エフィカシー理論からみたワーク・エンゲージメント
【予習】講義資料を通読し、主要概念やキーワードを整理しておく（120分程度）【復習】講義内容を振り返り、重要概念をノートにまとめるとともに、不明点や関心を持ったテーマについて文献や資料を調べ理解を深める（120分程度）

(9) リーダーシップ論からみたワーク・エンゲージメント：上司アイデンティフィケーションの視点から
【予習】講義資料を通読し、主要概念やキーワードを整理しておく（120分程度）【復習】講義内容を振り返り、重要概念をノートにまとめるとともに、不明点や関心を持ったテーマについて文献や資料を調べ理解を深める（120分程度）

(10) リーダーシップ論からみたワーク・エンゲージメント：内理論の視点から
【予習】講義資料を通読し、主要概念やキーワードを整理しておく（120分程度）【復習】講義内容を振り返り、重要概念をノートにまとめるとともに、不明点や関心を持ったテーマについて文献や資料を調べ理解を深める（120分程度）

(11) リーダーシップ論からみたワーク・エンゲージメント：SL理論の視点から
【予習】講義資料を通読し、主要概念やキーワードを整理しておく（120分程度）【復習】講義内容を振り返り、重要概念をノートにまとめるとともに、不明点や関心を持ったテーマについて文献や資料を調べ理解を深める（120分程度）

(12) リーダーシップ論からみたワーク・エンゲージメント：アサーティブ・リーダーシップの視点から
【予習】講義資料を通読し、主要概念やキーワードを整理しておく（120分程度）【復習】講義内容を振り返り、重要概念をノートにまとめるとともに、不明点や関心を持ったテーマについて文献や資料を調べ理解を深める（120分程度）

(13) リーダーシップ論からみたワーク・エンゲージメント：オーセンティック・リーダーシップの視点から
【予習】講義資料を通読し、主要概念やキーワードを整理しておく（120分程度）【復習】講義内容を振り返り、重要概念をノートにまとめるとともに、不明点や関心を持ったテーマについて文献や資料を調べ理解を深める（120分程度）

(14) リーダーシップ論からみたワーク・エンゲージメント：サーバント・リーダーシップの視点から
【予習】講義資料を通読し、主要概念やキーワードを整理しておく（120分程度）【復習】講義内容を振り返り、重要概念をノートにまとめるとともに、不明点や関心を持ったテーマについて文献や資料を調べ理解を深める（120分程度）

(15) 人的資源管理施策とワーク・エンゲージメント

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目は、人間観・モチベーション理論、リーダーシップ論などの人的資源管理の基礎理論を体系的に学び、働きがいのある組織づくりについて理解を深めることを目的とする。理論を踏まえて現代の組織課題を多面的に考察し、自身の見解を論理的に表現する力を養うことで、本学の卒業認定・学位授与の方針に掲げられる「専門性」「課題解決力」「論理的思考力」の育成に資する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業内において適宜、教員との対話形式によるディスカッションや意見交換を行い、双方向型の授業を実施する。

実務経験の有無及び活用

備考